

2025 年 9 月 12 日

警察庁長官
楠 芳伸 殿

一般社団法人 日本救急医学会
代表理事 溝端 康光



一般社団法人 日本外傷学会
代表理事 渡部 広明



一般社団法人 日本臨床救急医学会
代表理事 森村 尚登



一般社団法人 日本小児救急医学会
理事長 井上 信明



チャイルドシート着用義務にかかる道路交通法改正に関する陳情書

陳情要旨

私たち 4 学会の会員の多くは、交通事故に起因する外傷症例の診療に日々従事しております。とりわけ小児においては、現行法を遵守していたにもかかわらず死亡または重篤な後遺障害を負う事例が継続的に確認されており、事故後の家族の心身の苦痛も含め、到底看過できるものではございません。

現行の道路交通法においては、チャイルドシートの着用義務が「幼児（6 歳未満）」のみに規定されていますが、「6 歳以上または身長 150 cm 未満」の小児に対しても、チャイルドシートが適切に着用されていれば重篤な外傷の発生を防止し得た症例が多数存在いたします。

痛ましい事態をなくし、未来の子どもたちを守るため、チャイルドシートの着用義務に係る道路交通法の早急な改正を強く要望する次第であります。

陳情項目

1. 道路交通法におけるチャイルドシート着用義務の対象を、「幼児（6歳未満）」から「13歳未満または身長150cm未満」へと拡張する旨の改正を行っていただきたい。
2. 上記改正を実現するため、国家公安委員会および関係機関との協議を速やかに実施していただきたい。

詳細

1. 現行の道路交通法におけるチャイルドシートの使用義務

現行の道路交通法¹⁾においては、6歳未満の幼児にはチャイルドシート、6歳以上の子どもにはシートベルトの着用が義務となっています。

また、6歳未満の幼児については、チャイルドシートは「幼児の発育の程度に応じた形状を有するもの」と規定されている一方、6歳以上の子どもについてはその体格を考慮した対応に関する規定が設けられておりません。

2. 子どもの体格とチャイルドシート

警察庁²⁾や消費者庁³⁾では、6歳以上の児童においても、シートベルトを正しく使える体格になるまでは、チャイルドシートを使用するよう推奨しております。国土交通省によるシートベルトの安全性を確認する衝突試験⁴⁾では、身長150cm未満の子どもがシートベルトを使用する際の安全性は確認できていない旨が明らかにされております。なお、6歳児の平均身長は115cm前後であり、平均身長が150cmに到達するのは概ね12歳頃とされております⁵⁾。

3. 不適切な体格でのシートベルト使用による外傷

体格の小さな子どもがシートベルトを使用した場合、成人であれば骨盤部に作用する腰ベルトが子どもの腹部にかかり、成人の胸郭に作用する肩ベルトが子どもの首にかかります。この状態では、事故時の衝撃によって重大な腹部および頸部の外傷を引き起こす可能性が高くなります。Eberhardt ら⁶⁾による、チャイルドシートを使用せずシートベルトのみを着用していた5～9歳児の交通事故時の外傷例を解析では、車両の急減速時に体がジャックナイフのように曲がり、シートベルトによって腹部が強く圧迫され、後腹膜の臓器損傷、Chance骨折、対麻痺などが起こったと考察しています。さらに、2024年8月に福岡市で発生した女兒2名が死傷した事故においても、上記と同様の機序でシートベルトによる腹部臓器の損傷を生じていたとされております。

4. 6歳以上の子どものジュニアシートの使用効果

米国ワシントン州において、自動車乗車中に事故にあった8～12歳の子どもたち

約 8 万人を対象にした 2017 年の疫学調査⁷⁾によると、ブースターシート（ジュニアシート）を使用していた場合、シートベルト単独を使用していた場合に比較して、外傷リスクが約 30%、交絡因子を調整後も約 20%低下していたと報告されています。

5. 海外でのチャイルドシート使用の基準

JAF（一般社団法人日本自動車連盟）の調査⁸⁾によると、G7 にあげられる先進国のうち、ドイツで「12 歳未満かつ身長 150cm 以下」、イタリアで「体重 36kg 以下または身長 150cm 以下」、フランスでは「10 歳未満」に対し、チャイルドシートの使用が法令で義務付けられています。また、米国では州ごとに法規が異なるものの、アメリカ小児科学会⁹⁾が、「12 歳未満の子どもにはジュニアシートを使用すること」を推奨しています。なお、これらの国々では同時に、子どもは後部座席に着座することを積極的に推奨しております。

6. わが国での推奨

日本国内においても、自動車工業会¹⁰⁾および JAF¹¹⁾が、身長 150cm 未満の子どもにはジュニアシート着用を推奨しております。

以上の実情および国際的動向を踏まえ、我が国においても、子どもの自動車乗車中の安全を確保するため、「13 歳未満または身長 150cm 未満」の子どもに対しチャイルドシートの使用を義務付ける法整備を早急に実施すべきものと考え、ここに陳情いたします。

参考資料

- 1) 道路交通法第七十一条の三（令和 7 年 3 月 24 日 施行）
https://laws.e-gov.go.jp/law/335AC0000000105#Mp-Ch_4-Se_1-At_71 (2025 年 3 月 30 日閲覧)
- 2) 警察庁. 子供を守るチャイルドシート.
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/childseat.html> (2025 年 3 月 30 日閲覧)
- 3) 消費者庁. Vol. 653 より安全なチャイルドシートの使用を!
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_001/mail/20240920/ (2025 年 3 月 30 日閲覧)
- 4) NASVA (独立行政法人自動車事故対策機構). 衝突試験（前面・側面・後面）の試験方法及び評価方法.

https://www.nasva.go.jp/mamoru/assessment_car/crackup_test.html (2025 年 7 月 30 日閲覧)

- 5) 日本成長学会. 2000 年日本人小児の体格 標準値
<https://auxology.jp/ja-children-physique> (2025 年 3 月 30 日閲覧)
- 6) Eberhardt, C. S., Zand, T., Ceroni, D. et al. (2016). The Seatbelt Syndrome-Do We Have a Chance?: A Report of 3 Cases With Review of Literature. *Pediatric Emergency Care*, 32 (5), 318-322.
- 7) Anderson, D. M., Carlson, L. L., Rees, D. I. (2017). Booster Seat Effectiveness Among Older Children: Evidence From Washington State. *American Journal of Preventive Medicine*, 53 (2), 210-215.
- 8) JAF. 海外のシートベルト着用・チャイルドシート使用義務.
<https://jaf.or.jp/common/global-support/global-traffic-rules/seatbelt> (2025 年 3 月 30 日閲覧)
- 9) アメリカ小児科学会. Child Passenger Safety.
<https://www.aap.org/en/patient-care/early-childhood/early-childhood-health-and-development/safe-environments/child-passenger-safety/> (2025 年 3 月 30 日閲覧)
- 10) 日本自動車工業会. チャイルドシート啓発.
https://www.jama.or.jp/operation/safety/child_seat2023/index.html (2025 年 3 月 30 日閲覧)
- 11) JAF. ～JAF のチャイルドシート使用目安を「150cm 未満」へ変更～ 新たな検証動画や取り付け方動画も同時公開. <https://jaf.or.jp/common/news/2024/20240913-001> (2025 年 3 月 30 日閲覧))